

令和元年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

平成30年度森林環境基金事業の 実績について

- 平成30年度森林環境基金事業の実績について
- 平成30年度森林環境基金事業の枠組(実績)
- 平成30年度森林環境基金充当事業 実績一覧表

令和元年6月17日

福島県農林水産部森林計画課

平成30年度森林環境基金事業の実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

【森林整備課】

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する。

○平成30年度実績

- ・森林整備事業 間伐947ha (H29実績：1,158ha)
林業事業体による水源区域等で荒廃が懸念される森林の整備を支援した。
- ・森林資源造成支援事業 再造林71ha (H29実績：48ha)
水源区域等の広葉樹林化などの多様な森林資源へ誘導するための再造林を支援した。



森林整備（間伐）実施後状況



苗木の植栽

○累計実績（平成18～30年度）

- ・森林整備事業 19,055ha (H18～H27 15,911ha H28～H30 3,144ha)
- ・森林整備促進事業 8,350ha (H18～H27)
- ・森林資源造成支援事業 159ha (H28～H30)

事業成果

平成30年度までの13年間に荒廃が懸念される森林19,055ha(猪苗代湖の面積約1.8個分)の間伐を実施したことにより、水源かん養や山地災害防止など森林の有する公益的機能が向上し、水源区域森林の機能維持に寄与することが期待される。

水源区域や水源かん養機能又は山地災害防止機能が重視される森林159haの再造林を実施したことにより、森林の若返りや年齢構成の平準化が図られるとともに、広葉樹林化など多様な森林資源への誘導も期待される。

(2) 里山林整備事業

【森林保全課】

事業概要

里山林において地域住民が行う、野生動物の生息域との間の緩衝帯の整備や森林づくりへの意識の醸成、森林と人との絆の回復を図るための身近な森林の整備を支援する。

○平成30年度実績

環境整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木整理） 43件 80ha (20市町村)
(H29実績：30件 51ha (15市町村))



緩衝帯整備の様子（施工前）



緩衝帯整備の様子（施工後）

○累計実績（平成28～30年度）

・環境整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木処理） 累計107件 185ha

事業成果

43団体（20市町村）が行った緩衝帯整備、景観整備、危険木整理80haに対して支援を行い、里山林の獣害対策や地域住民の森林づくりへの意識醸成につながった。

(3) 森林整備地域活動支援交付金事業

【森林計画課】

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う。

○平成30年度実績

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。
森林経営計画作成促進支援：100ha（H29実績：560ha）

○累計実績（平成23～30年度）

森林経営計画作成促進支援：36,738ha

事業成果

森林経営計画の作成や施策集約化の促進等の活動に対する支援を行った。平成23年度から平成30年度の8年間で36,738haで森林経営計画作成に向けた支援を行ったことで、101,437haの森林で森林経営計画が作成され（平成29年度末時点）、計画的かつ一体的な森林施策の推進が図られた。

(4) 森林環境適正管理事業

【森林計画課】

事業概要

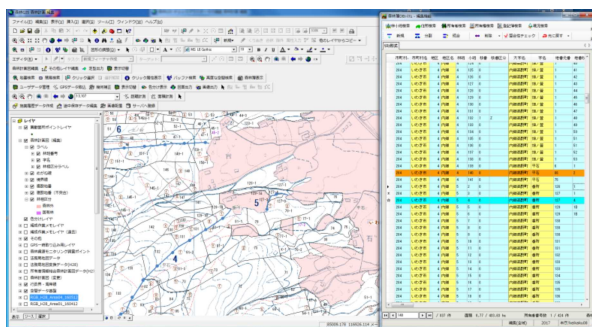
森林環境を適正に管理し業務の効率化を図るために森林GISの運用を行うとともに、地図上で森林情報を確認できるウェブサイト「ふくしま森まっぷ」を活用し、県民へ情報を発信する。

○平成30年度実績

・森林情報（GIS）活用推進事業

森林GISを構成する①森林資源情報システム、②施策履歴管理システム、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業により実施した。

ふくしま森まっぷアクセス件数 1,047,604件（H29実績：610,886件）



「森林GIS」による森林資源情報の表示



「ふくしま森まっぷ」の表示

○累計実績（平成18～30年度）

森林GIS開発 平成18～20年度
 ふくしま森まっぷ（平成21年度公開）
 アクセス件数 累計約408万件

事業成果

森林GISを活用することで広大な森林を適正に管理するとともに、「ふくしま森まっぷ」により、森林と触れあうことができる施設の紹介など、各種森林に関する情報を県民を始めとする多くの人々に向けて発信することができた。

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(5) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課・林業振興課】

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援する。

○平成30年度実績

- ・ 間伐材運搬経費支援事業 500円/m³ 12,800m³ (H29実績：12,800m³) 【林業振興課】
- ・ 林内作業路整備支援事業 500円/m 45,800m (H29実績：52,610m) 【森林整備課】

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等への間伐材の運搬を支援した。



作業路を利用した間伐材の搬出



作業路の整備

○累計実績（平成18～30年度）

山土場から原木市場までの運搬支援
 間伐材搬出に必要な林内作業路整備

H18～H30 255,371m³
 H18～H30 629,838m

事業成果

これまで搬出が十分に進んでいなかった間伐材等未利用材が原木市場へ搬出されたことで、間伐材の利用拡大が図られた。

(6) 森林整備促進路網整備事業

【森林整備課】

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す。

○平成30年度実績

- ・森林整備促進路網整備事業 4,200円/m 4,570m (H29実績: 5,020m)

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の開設状況 (小野町)



作業道の開設状況 (天栄村)

○累計実績 (平成23~30年度)

耐久性のある作業道の開設 H23~H30 58,682m

事業成果

平成23年度から平成30年度までの8年間で58,682m (猪苗代湖約1.2周分)の作業道が開設され、森林整備と間伐材の搬出が促進された。このことにより、水源かん養機能・山地災害防止機能の回復と資源の有効活用が期待される。

(7) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業

【林業振興課・建築指導課】

事業概要

地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行うCO2排出削減に貢献する取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することや、バイオマスエネルギー利用の普及のための支援を行い、低炭素社会の実現に資する。

○平成30年度実績

- ・木めぐり探検事業【林業振興課】

消費者が木にふれあい「安全・安心・健康な家づくり」を実現できるよう、生産者の顔の見える家づくりの見学体験ツアーを実施した。

県南コース 22名参加、いわきコース 23名参加、

県北・県中コース 20名参加

計3回実施 65名参加 (H29実績: 計4回実施、117名参加)

- ・緑の住宅普及支援事業【林業振興課】

県産材の良さや利用の意義をPRするため、各種イベントにおける県産材住宅モデル等の展示や家づくりワークショップ等の普及啓発活動を実施した。

- ①県産材住宅モデル等の展示 (イベント出展3回)

会津ブランドものづくりフェアほか

来場者11,900名

- ②家づくりワークショップ等 (5回開催)

参加者234名

- ③家づくり講演会 (1回開催)

参加者 13名

- ・木質バイオマスでCO2ダイエット事業【林業振興課】

ア間伐材等二酸化炭素削減支援

県内木材バイオマスエネルギー利用施設への燃料用間伐材の搬出・運搬支援を実施した。 1,000円/m³ 40,000m³ (H29実績: 1,000円/m³ 40,000m³)

イ木質バイオマス利用ストーブ普及支援

木質バイオマスエネルギー利用機器の民間における導入支援を行った。

ペレットストーブ27台、薪ストーブ73台、補助額：5万円/台
 (H29実績：ペレットストーブ30台、薪ストーブ68台、補助額：5万円/台)

・ **ふくしま木の家・担い手応援事業【建築指導課】**

県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等を対象とした技術セミナー等を実施した。

- 木造建築普及促進セミナー 6回開催 参加者206名
- 福島県木造住宅耐震診断技術講習会 1回開催 参加者37名
- 福島県地域住宅生産者グループ研修会 2回開催 参加者84名

・ **ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業【建築指導課】**

構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20万円相当（被災者等・県外移住者・子育て世帯は30万円相当）の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。

補助実績：145棟（うち被災者等への補助は24棟、県外移住者1棟、子育て世帯85棟）
 (H29：178棟（うち被災者等への補助は40棟）)



木めぐり探検事業
 (木材市場見学)



木めぐり探検事業
 (モデルハウス見学)



木質バイオマス利用ストーブ普及支援



大工・工務店を対象としたセミナー

○ **累計実績**

・ **木めぐり探検事業（平成28～30年度）**

見学体験ツアー H28～H30 11回 参加者 291名

・ **緑の住宅普及支援事業（平成22～30年度）**

ふくしま緑の家づくりセミナー H22 県内7方部で実施 参加者 300名

県産材住宅モデル等の展示 H22～H29 29回

家づくりワークショップ等の開催 H22～H30 74回 参加者3,992名

ふくしまの住まい作品展 H28 県内7方部で実施 参加者 700名

家づくり講習会 H29～30 4回 参加者 86名

・ **木質バイオマスでCO2ダイエット事業（平成23～30年度）**

県内木材バイオマスエネルギー利用施設への
 燃料用間伐材の搬出・運搬支援 H24～H30 228,800m3

木質バイオマス利用ストーブ H23～H30 506台
 (内訳 ペレットストーブ160台、薪ストーブ342台、兼用4台)

・ **ふくしま木の家・担い手応援事業（平成26～30年度）**

担い手ネットワーク登録者数 H26～H28 121名
 技術力向上に係るセミナー、研修等 H26～H30 29回 参加者1,127名

・ **ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業（平成25～30年度）**

補助実績 H25～H30 884棟（うち被災者等への補助222棟、県外移住者4棟、子育て世帯85棟）

事業成果

県産材を活用した住宅の見学ツアーを実施したことで、県産材の良さや利用する意義について、県民の理解が深まった。

木材関係団体や家づくりグループとの連携による県産材のPR活動を展開し、県内外の消費者や建築関係者等へ県産材の良さや利用する意義の理解促進を図った。

事業体や個人に対する補助を通じて、木質バイオマスの燃料としての有効利用について、県民の理解が深まった。

県内の大工・工務店や設計者を対象にしたセミナーや技術講習会等の開催により、木造建築に係る自己研鑽の機会が提供され、技術力の向上と伝統技術の継承が図られています。

県内工務店と県産木材を活用した住宅に対する補助棟数は子育て世帯の割合が多く、木造住宅の快適さや、木材を利用する意義について、若い世代での意識の醸成が図られています。

(8) もっともっと木づかい推進事業

【林業振興課】

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大を図る。

○平成30年度実績

・木景観形成促進事業

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。(3か所)(H29実績:3か所)

- ①福島赤十字病院(福島市) ベンチ2基
- ②あづま総合運動公園(福島市) 東屋1基
- ③森林の分校ふざわ(只見町) テーブル1基、ベンチ11基

・木とのふれあい創出事業

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座、林業祭での木工工作教室を実施した。

木工工作用資材配布 92校(約5,000人)、出前講座8か所10回(約600人)
(H29実績:67校 出前講座9箇所 13回)

・木材製品需要拡大技術導入事業

新たな木材需要の創出に繋がる新用途・新技術の開発や普及啓発活動を支援した。

県産樹皮の利活用推進ほか 2件(H29実績:2件)

・【新】ふくしま県産材でオリンピック応援事業

「東京2020大会選手村ビレッジプラザ」建設工事に県産材を提供するため、原木の調達を行った。

県産材の提供予定数量 113m³(スギ79m³、ヒノキ34m³)

・【新】木製食器で木づかい事業

木製食器等の利用促進を食べ残しゼロ協力店で行う。

県産材木製認定証製作 400個
認定証配布店舗 274店
県産材木製食器導入 1店舗(木製プレート40枚、丸器20個 外)



病院に導入した木製ベンチ



小学校で開催した出前講座

○累計実績（平成23～30年度）

- ・木景観形成促進事業（平成24～30年度）
民間団体等による県産材を活用した施設整備 27か所
- ・新「ほっと」スペース創出事業（平成23～29年度）
公共建築物等への県産材製品の設置・展示 59か所
- ・木とのふれあい創出事業（平成24～30年度）
木工工作用資材提供 769校、出前講座の実施 82校
- ・GLT等新技術導入実践事業（平成27年度）
実証事業等 2件
- ・木材製品需要拡大技術導入事業（平成28～30年度）
新技術の開発と普及活動 7件
- ・【新】ふくしま県産材でオリンピック応援事業（平成30年度）
県産材の提供 113m³（予定）
- ・【新】木製食器で木づかい事業（平成30年度）
県産材木製認定証製作 400個
認定証配布店舗 272店
県産材木製食器導入 1店舗（木製プレート40枚、丸器20個 外）

事業成果

木材を活かしたデザインや景観をつくりだすことにより、一般県民等に県産材利用の普及が図られた。

小学生や中学生を対象に木材利用の意義について理解を深めてもらい、将来の木材利用や木づかいへの普及を図った。

新たな樹皮の利用法や、樹木から採取した精油による商品の試作開発、県産スギ、ヒノキ材による鉛筆製造等、県産材の様々な利活用の可能性が広がった。

関係機関等と連携しながら、東京2020大会の選手村ビレッジプラザに用いる建築部材を2019年度中に納入し、県産材の安全性や品質を国内外にPRする予定である。

(9) 地域林業技術伝承事業

【林業振興課】

事業概要

地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。

○平成30年度実績

・地域林業技術伝承事業

各地域の特性を活かした多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援した。

支援団体 流域林業活性化センター 2団体（H29実績：4団体）

・林業研究グループ交流促進事業

林業技術や特色ある取組を伝承・普及する県内の林業研究グループの活動を促進した。

支援団体 県内林業研究グループ 5団体（H29実績：6団体）



現地検討会



林業体験活動

事業成果

地域の特性を生かした施業技術の実証試験や林業技術の伝承・普及を支援することで、地域における林業の課題解決と振興に貢献した。

県内の林業研究グループの活動を促進したことにより、県民を対象とした林業研究グループが持つ林業技術等の普及が図られた。

○累計実績（平成28～30年度）

- ・地域林業技術伝承事業（平成28～30年度）
支援団体 延べ10団体
- ・林業研究グループ交流促進事業（平成29～30年度）
支援団体 延べ11団体

3 市町村が行う^{もり}森林づくりの推進

(10) 森林環境交付金事業

【森林計画課】

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。

○平成30年度実績

・森林環境基本枠

59市町村（H29実績：59市町村）

- ①県民参画の推進 34市町村（H29：31市町村）
県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等
・町民参加による「親子木工教室」の実施（小野町）など
- ②森林の適正管理推進 6市町村（H29実績：5市町村）
森林整備のための協定締結、現地調査・測量
・森林景観整備の実施に向け所有者との協定を締結（郡山市）など
- ③森林環境学習の推進 59市町村（H29実績：57市町村）
森林環境学習実施校 小学校351校、中学校107校、計458校 全678校の68%
（H29実績：小学校349校、中学校113校、計462校 全684校の69%）
人数 小学校32,278人 中学校 9,197人 計41,475人（全139,661人の30%）
（H29実績 小学校33,684人 中学校13,029人 計46,713人 全143,346人の33%）
・フォレストパークや自然の家において、自然観察等を行い、森林の持つ役割について学習した。（大玉村立玉井小学校）など
- ④森林整備の推進 39市町村、89ha（H29実績：38市町村、105ha）
間伐、野生生物との共生林整備、等
・野生生物との棲み分けを図る緩衝帯の整備34ha 6町村（H29実績：47ha）



県民参画の推進（白河市）



森林環境学習の推進（柳津町）

・地域提案重点枠

20市町村、39件（H29実績：22市町村、38件）

- ①県産材の利活用推進 19市町村、32件（H29実績：21市町村、30件）

- 小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机・椅子等の導入、など
 - ・町立石川小学校への県産材木製机・椅子の導入（石川町）など
- ②木質バイオマスの利活用推進 1市、2件（H29実績：2市、3件）
 - ペレットストーブ導入 合計10台（H29実績：合計5台）
 - ・大戸中学校へのペレットストーブ導入（会津若松市）など
- ③その他 4市町村、5件（H29実績：4市町村、5件）
 - 「会津・漆の芸術祭2018」の開催（会津若松市）など



木製柵の設置（いわき市）



木製遊具の導入（会津若松市）

○累計実績（平成18～30年度）

・森林環境基本枠

- ①県民参画の推進実施 H18～H30 49市町村
- ②森林の適正管理実施 H18～H30 27市町村
- ③森林環境学習実施 H18～H30 全59市町村
延べ5,189校
- ④森林整備実施 H23～H30 49市町村、間伐、危険木除去等822ha

・地域提案重点枠

- ①森林整備実施 H18～H22 47市町村 210件（間伐等1,087ha）
- ②県産材の利活用推進実施 H18～H30 51市町村 454件
- ③木質バイオマスの利活用推進実施
H18～H30 28市町村 80件
（ペレットストーブ254台 薪ストーブ9台）
- ④その他の取組実施 H18～H30 11市町村 41件
（漆の芸術祭、PTA等による里山環境再生、等）

事業成果

交付金を活用することにより、これまでに森林環境基本枠については全59市町村が県民参画や森林環境学習の推進などに取り組み、地域提案重点枠については51市町村が県産材の利活用推進や木質バイオマスの利活用推進などに取り組み、市町村との連携のもと、県民一人一人が参画する森林づくりを効果的に進めることができた。

4 県民参画の推進

もり

(11)花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

事業概要

森林環境に配慮した再生林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。

○平成30年度実績

- ・花粉の少ない森林づくり推進事業
苗木養成2,900本、台木植栽148本（H29実績：苗木養成5,220本、配布苗木150本）
- ・次世代の森林づくり促進事業
スギ採穂園整備 0.39ha（H29実績：0.3ha）



少花粉スギ挿し木の状況



特定母樹採種園の造成

○累計実績（平成23～30年度）

- ミストハウス（発根促進施設）整備 H23
- 少花粉スギ採種園 H26 造成0.3ha
- 無花粉スギ採種園 H26 造成0.1ha
- 特定母樹のスギ採種園 H28～H30 造成0.99ha
- 花粉症対策品種のさし付け H24～H29 29,911本
- 苗木配布 H25～H29 1,360本

事業成果

平成30年までに、中通り（林業研究センター）に整備した採種園計0.4haに加え、新たに会津地方（会津圃場（喜多方市））に少花粉スギ採種園計0.39haを造成したことにより、採種園稼働後は、福島県内全域への少花粉スギ実生苗の供給が可能となり、花粉症対策に寄与することが期待される。

(12) 林業普及推進事業

【林業振興課】

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。

○平成30年度実績

・担い手緑化推進事業

平成30年10月20日（土）～21日（日）に開催された林業祭において、森林や木材にふれあう各種イベントなどの実施により、森林・林業・木材産業の復興への取り組みの状況をお知らせし、併せて森林・林業の再生に対する県民意識の醸成を図った。

- ・来場者：7,000名



林業祭の開催状況



林業祭の開催状況

○累計実績（平成22～30年度）

- 林業祭 H22～H30 来場者累計34,200人

事業成果

森林・林業の重要性や役割、林業の現状や魅力などを県民に対し発信したことにより、県民の森林・林業・緑化に対する意識が高まった。

(13) 森林環境学習の森整備事業

【森林保全課】

事業概要

全ての県民が、森林環境税の重要性や林業の役割についての学習や、森林とのふれあいのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

○平成30年度実績

・森林学習フィールド整備事業

施設名：県民の森 森林整備 間伐1.07ha ほか

(H29実績：県民の森 森林整備（獣害被害の安全対策）主伐1.0ha、除伐0.2ha)



間伐状況



材の搬出状況

○累計実績（平成23～30年度）

・県有林フィールド整備事業 平成23～30年度

6施設（県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林、青松ヶ浜県有林）

間伐、除伐、危険木除去等 31.66ha

木製手すり設置 58.2m 案内板等設置

木製階段 75段 歩道工 282m 護岸補修 15.0m

・歩道バリアフリー化事業 平成23～26年度

2施設（県民の森、緑化センター）

木質系チップ舗装歩道 330m

バリアフリー歩道 L=150m、木質舗装211m²

・森林環境学習の森整備事業（平成28～29年度）

2施設（県民の森、舟津県有林）

下刈り、除伐 6.02ha 主伐 1.0ha

遊歩道 186m

事業成果

県民の森における森林整備を行い、県民が安全に森林とふれあい・学習するためのフィールドを整備し、利用者の安全確保を図るとともに、森林・林業への理解の促進につながった。

(14) 森林づくり総合対策事業

【森林保全課】

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。

○平成30年度実績

・未来へつなげよう豊かな^{もり}森林づくり事業

ア 森林ボランティア団体活動推進事業

森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した7団体に対して支援した。
(H29実績：7団体)

イ 森林ボランティアサポート事業

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌（森ボラ新聞）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。

(ホームページアクセス件数(H30.4～H31.3) 90,769件)

(H29年度ホームページアクセス件数：143,587件 対前年比：63%)

ウ もりの案内人養成事業

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の養成を行った。養成講座受講者25名、認定者19名。

(H29実績：養成講座受講者18名、認定者13名)

エ グリーンフォレスター養成事業

森林ボランティア育成講座を開催しグリーンフォレスターの認定を行った。

養成講座受講者7名、認定者6名 (H29実績：養成講座受講者12名、認定者5名)

・みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業

企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備において、活動の支援を行うとともに企業等とづくりの協定を締結した。協定締結4件 (H30実績：協定4件)



もりの案内人認定者



企業による森林づくり

○累計実績（平成18～30年度）

・未来へつなげよう豊かな森林づくり事業

ア 森林ボランティア団体活動推進事業（平成18～30年度）

森林ボランティア団体支援 167団体

イ 森林ボランティアサポート事業（平成18～30年度）

ホームページアクセス件数 829,486件

ウ もりの案内人養成事業（平成18～30年度）

もりの案内人養成者数 273人（前身事業も含めた累計は559人）

エ グリーンフォレスター養成事業（平成30年度～）

（旧名称 森林ボランティアリーダー育成事業）（平成18～29年度）

グリーンフォレスター認定者 53人（前身事業も含めた累計は124人）

・みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業（平成29～30年度）

（旧名称 カーボンオフセット森森（もりもり）元気事業）（平成22～28年度）

森林づくり活動協定締結 27件 50.27ha

事業成果

県内各地域で森林整備活動を実施している森林ボランティア団体等の活動を支援することにより、県民参加による森林づくり運動の推進が図られた。

森林ボランティアに関する総合的な窓口として「森林ボランティアサポートセンター」を開設し、広く県民に森林ボランティアに関する情報発信及び森林整備の知識・技術を身に付けることを目的とした研修会を行うことで、森林づくりに対する意識の醸成が図られた。

森林の役割や重要性を県民に広く伝える「もりの案内人」を養成することにより、森林環境学習や自然観察等の森林づくり活動の推進が図られ、次世代を担う子どもを中心に県民の緑化意識の高揚が図られた。

森林整備に関する専門的知識と技術を有する「グリーンフォレスター」を育成することにより、県内で活動する森林ボランティア団体等に技術指導を行うなど、多くの県民の緑化意識の高揚が図られた。

企業に対して森林づくり活動の普及啓発を行ったことにより、県民の森林づくり意識の醸成が図られた。

(15) 県立学校における森林環境学習推進事業

【高校教育課】

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する。

○平成30年度実績

実施校数 郡山北工業高校ほか 計10校 人数 445名 (H29実績：11校)

取組事例

間伐材や除伐材で白炭を作成。山が保全管理され地域の環境改善・森林保全・国土保全につながることを学習した。(耶麻農業高校)



スギの伐採と間伐作業 (会津農林高校)



いわき市子ども元気センターの室内緑化 (磐城農業高校)

○累計実績 (平成18~30年度)

実施校数 H18~H30 延べ実施校数 90校

事業成果

森林関係の講師を招聘した学習や地域施設の室内緑化の施工体験、伐採作業や枝打ち体験など森林の保全に関する学習、間伐材による木工製品づくりをとおした資源の活用に関する学習、クマガイソウ等の山野草の移植活動をとおした環境保護の学習などの事業を実施した。10校、合計445名の生徒が事業に参加した。

(16) ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業

【森林計画課・全国植樹祭推進室】

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と、平成30年全国植樹祭に向けた森林づくり活動の意識醸成を図る。

○平成30年度実績

・森林環境情報発信事業 【森林計画課】

新聞広告、ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備や県産材の利活用、森林づくりの推進などについて発信した。また、森林認証制度の普及及び林業事業者の認証取得に向けた取組を支援した。

ポスター 1,500枚、パンフレット 26,000部 森林環境税PR割箸 1,000本

県産材コースター230個 森林環境学習下敷き作成 11,000枚

県政ラジオ番組3回 県政テレビ番組2回 新聞広告1回 (福島民報、福島民友新聞)

森林認証セミナー開催1回 参加者42名

・若者の森林自己学習支援事業【森林計画課】

県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習を支援した。

実施団体 森林自己学習取組学生グループ 5団体
林ゼミナール会津研究判(福島大学)
福島の魅力を発見、世界に発信し隊(会津大学)
葛尾村ロハス橋制作プロジェクト(日本大学工学部)
福島学院大学アウトドアスポーツクラブ(福島学院大学)
巨人に会いに行くプロジェクト(いわき短期大学)
学生グループの支援 1団体
アカデミア・コンソーシアムふくしま



森林認証セミナー



県産材を活用したコースター、割箸、下敷

○累計実績(平成25~30年度)

・森林環境情報発信事業(平成25~30年度)

新聞記事掲載 6回
県政広報テレビ放映 7回
テレビ・ラジオCM 合計694回
森林環境税PRパンフレット、ポスター作成
合計 パンフレット 191,000部、ポスター 5,500枚
森林環境税PR鉛筆4,800セット 森林環境税PR割箸5,800セット
森林環境学習下敷き作成 55,000枚

・森林づくり活動推進事業(平成25年度)

森林づくり検討委員会開催 3回 委員7名
「森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ(H25.12.20)

・森林づくり県民運動推進事業(平成26~30年度)

森林づくり活動ワークショップ 3か所
シンポジウム 2か所
全国植樹祭PR活動 84箇所
全国植樹祭連携イベント 32箇所
苗木のスクールステイ 県内小学校126校
苗木のホームステイ 個人世帯73世帯、企業団体89団体

事業成果

新聞広告や県民へのパンフレット等の配布により、本県の森林の概要や良さ、森林林業に関する取組など森林環境に関する情報を発信することで、ふくしまの森林に関する関心と理解の拡大により、県民参加による森林づくりをさらに加速させることができた。また、第69回全国植樹祭を開催したことにより、全国からの支援への感謝の気持ちを発信したとともに、県民の森林づくり活動の推進が図られた。

事業概要

平成30年全国植樹祭に向け、緑豊かな森林の再生を進め、全国からの支援への感謝の気持ちを発信するシンボル事業となるよう、開催準備を進める。

○平成30年度実績

第69回全国植樹祭を開催し、森林再生の加速化を図るとともに、復興に向けて歩み続ける本県の姿と国内外からの支援への感謝の気持ちを発信した。

各種リハーサルを実施

式典リハーサル 約150名参加

総合リハーサル 約1,600名参加

荒天リハーサル 約130名参加

前日リハーサル 約3,300名参加

天皇皇后両陛下による国土緑化運動等入賞作品御覧を実施 6/9

第69回全国植樹祭レセプションを開催 371名参加

第69回全国植樹祭を開催 計14,305名参加

大会会場（南相馬市原町区雫地内海岸防災林整備地） 8,144名参加

サテライト会場（大玉村ふくしま県民の森） 1,400名参加

PR会場（福島市、郡山市、会津若松市、白河市） 4,761名参加

大会情報誌「第69回全国植樹祭だより『キビタンの森林』」2回発行

大会記録誌及び記録DVDを作成 各1,100部

大会会場跡地に御製碑を建立、御製碑除幕式を開催 3/26

実行委員会第7回総会を開催 3/2



全国植樹祭グランドフィナーレ



全国植樹祭植樹会場

○累計実績（平成25～30年度）

全国植樹祭福島県準備委員会開催 H25～H26 5回

「第69回全国植樹祭基本構想」取りまとめ H26

緑化活動に関するアンケート調査 H26

全国植樹祭福島県実行委員会 H27～29 6回

専門委員会 H27～29 13回

基本計画・実施計画策定、大会記念イベントの開催 H29 3回

式典リハーサル (以下 H30実績) 約150名参加

総合リハーサル 約1,600名参加

荒天リハーサル 約130名参加

前日リハーサル 約3,300名参加

天皇皇后両陛下による国土緑化運動等入賞作品御覧を実施 6/9

第69回全国植樹祭レセプションを開催 371名参加

第69回全国植樹祭を開催 計14,305名参加

大会会場（南相馬市原町区雫地内海岸防災林整備地） 8,144名参加

サテライト会場（大玉村ふくしま県民の森） 1,400名参加

PR会場（福島市、郡山市、会津若松市、白河市） 4,761名参加

大会情報誌「第69回全国植樹祭だより『キビタンの森林』」2回発行

大会記録誌及び記録DVDを作成 各1,100部

大会会場跡地に御製碑を建立、御製碑除幕式を開催 3/26

事業成果

第69回全国植樹祭を開催したことにより、全国からの支援への感謝の気持ちを発信したとともに、県民の森林づくり活動の推進が図られた。

(18) 森林・水循環推進事業

【土地・水調整課】

事業概要

健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。

○平成30年度実績

森林・水資源等を活かした相互交流会の開催

福島県水環境活動交流会 19団体 参加者57名 (H29実績：16団体 参加者45名)

水を育む森林環境学習発表会 参加者45名 (H29実績：参加者51名)

ステップアップ講座 参加者21名 (H29実績：参加者24名)

緑の水源地再生チャレンジ 参加者25名

流域水環境活動団体支援事業 参加者11名

流域水循環に関する協議の場の開催 計3回開催 (H29実績：計5回開催)

○累計実績 (平成28～30年度)

森林・水資源等を活かした相互交流会の開催

福島県水環境活動交流会 51団体 参加者144名

全国河川愛護団体交流会 21団体 参加者57名

水を育む森林環境学習発表会 参加者154名

ステップアップ講座 参加者77名

交流行事、体験ツアー 3回 参加者91名

流域水循環に関する協議の場の開催 計18回開催



ステップアップ講座



緑の水源地再生チャレンジ

事業成果

森林・水資源を生かした相互交流会を開催し、平成30年度の交流行事参加者は159人となった。引き続き相互交流・体験の機会の創出に努め、健全な水環境を推進するため、森林・水環境教育等の実践につなげていく。

また、流域水循環に関する協議の場として、福島県水循環協議会及び福島県地方流域水環境協議会を平成29年度に設立し、平成30年度は各地方流域水循環計画を策定した。今後、本会議で水に関わる様々な課題解決を行っていく。

(19) エコ七夕事業

【環境共生課】

事業概要

未就学児の地球環境を想うやさしい心を育成をするために、幼稚園・保育園・こども園でエコに関する願い事をする七夕イベントを実施する。

○平成30年度実績

エコ七夕実施園数 94園 参加者4,894名 (H29実績：94園 参加者4,620名)

もりの案内人派遣園数 10園 参加者311名 (H29実績：8園 参加者191名)
 エコ七夕in県庁 学校法人まゆみ学園認定こども園まゆみ (二本松市) 参加者31名
 (H29実績：ささやのぞみ保育園 (福島市) 参加者40名)



県庁エコ七夕



県産材を利用した短冊

事業成果

幼稚園・保育園・こども園で七夕イベントを実施し、小学校入学前の子どもたちの地球環境を想うやさしい心の育成を図った。

○累計実績 (平成28～30年度)

エコ七夕実施園数	270園	参加者	14,371名
実施園のうち、もりの案内人派遣園数	25園	参加者	748名
実施園のうち、エコ七夕in県庁実施園数	3園	参加者	124名

5 森林文化の継承

(20) ふくしまの森林文化継承事業

【森林計画課・林業振興課】

事業概要

先人たちが育んできた森林と人との絆 (つながり) である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う。

○平成30年度実績

・ふくしまの森林文化継承事業 【森林計画課】

県内森林文化を記録した映像の作成し県HP及びYoutubeで公開するとともに、森林文化公開体験イベントを開催した。

記録映像 2本 (会津桐【前編】、指物師) (H29実績：2本)

体験イベントの開催 (フォレストパークあだたら)

「里山を知る」体験展示 1回 来場者11,452名

体験プログラム 4回 参加者 215名

森林文化出前講座 4回開催

蓬莱団地周辺の森林と人の映り変わり 参加者33名

森に暮らす野生動物と人のかかわり 参加者 9名

三島町編み組細工の実演と体験 参加者28名

里山のなりたちと昆虫の暮らし 参加者26名

・木(森)に由来する伝統文化継承事業 【林業振興課】

木(森)に由来する伝統文化継承事業体験イベント

伝統文化を継承するための研修・体験イベント及び新たな製品の開発支援をした。

編み組に関するイベント 2回 (三島町、会津坂下町) 参加者延べ35名

現代様式にマッチした利用・提案のイベント (郡山市) 参加者54名

イベントの成果展示・PRイベント (郡山市)

桐の栽培育成研修 5回 (三島町・秋田県湯沢市) 研修生5名

漆掻き職人育成研修 5回 (喜多方市) 研修生5名

1回 (茨城県常陸大宮市) 参加者17名

野生きのこ料理教室 (郡山市) 2回 参加者延べ18名

野生きのこ試食会 (調理見学会) (郡山市) 参加者100名

会津産桐材及び漆を使用した酒箱の開発



漆の掻き子育成研修



桐の栽培育成研修

○累計実績

・ふくしまの森林文化継承事業（平成24～30年度）

森林文化公開体験イベント開催 H24～H27, H29～H30 15回 参加者21,926名
森林文化調査カード公開 H24～H28 125件 (H18からの累計実績175件)
森林文化記録映像公開 H18～H30 19テーマ19本

・木（森）に由来する伝統文化継承事業（平成25～30年度）

伝承文化継承イベント開催 H25～H30 15回 参加者602名
伝承文化継承研修会 H28～H30 28回 参加者47名
野生きのこ料理教室・試食会 H28～H30 7回 参加者283名
技術開発 H28～H30 3件

事業成果

これまでに実施した本県の森林文化の調査結果を175件の調査カードに取りまとめ、「森のくらし」をテーマに19章の森林文化記録映像を作成し、ホームページでの公開や森林文化体験イベントの実施等で、ふくしまの森林文化を広く発信した。

桐の栽培者や、漆掻き職人を育成することで、次世代への知識や技術の習得に寄与した。

また、特用林産物を利用したイベントの実施やPR効果や機能性の高い製品の開発により、県産特用林産物の魅力や新たな利用法について、幅広い世代に周知することができた。

6 森林環境の調査研究

(22) 森林環境等調査発信事業

【森林計画課】

事業概要

県民に身近な森林の現況や、木造施設などにおける木材の良さを調査し、その結果を、県民に向け周知することで、県民に対し森林や木材とふれあう動機付けを行うとともに、森林を守り育てる意識の醸成を図る。

○平成30年度実績

・小中学校における木のよさ調査を実施した。

小中学校用家具の導入状況調査

書面調査 小・中学校29校、現地調査 小・中学校10校

木のよさPRチラシ作成 8,000部

PRチラシを「木との触れあい創出事業」で木工教室を実施した県内小学校へ配布
77校



木製家具導入状況（柳津小）



内装木質化状況（小野中）

事業成果

森林環境交付金事業で整備した公共木造施設における木のよさ調査の結果をとりまとめたPRチラシを作成し、小学校における森林環境学習活動等に活用することで、森林・林業に対する子ども達の理解を深め森林を守り育てる意識の醸成が図られた。

7 森林環境基金の運営

(23) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「森林の未来を^{もり}考える懇談会」を運営する。

○平成30年度実績

・森林の未来を^{もり}考える懇談会運営事業

森林の未来を^{もり}考える懇談会を3回開催した。

第1回（平成30年7月30日）

- ・平成29年度事業の実績について
- ・平成30年度事業の実施について
- ・第69回全国植樹祭開催結果について

第2回（平成30年12月27日）

- ・森林づくりの提言策定専門部会の設置について（報告）

第3回（平成31年3月27日）

- ・平成30年度森林環境基金事業の実績について
- ・平成31年度森林環境基金事業の概要について
- ・森林づくりの提言（案）について

○累計実績

- ・森林の未来を^{もり}考える懇談会運営事業（平成18～30年度）

懇談会開催 H18～H30 46回

- ・森林環境税関連施策検討事業（平成24～25年度）

森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H25 2回 発表題数16題

- ・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業（H26, 27）

森林づくりタウンミーティング 7回 参加者合計364名

森林環境税に関する県民アンケート H26.10.25-12.25 回答数10,900件

市町村・関係団体アンケート 1回

県民意見公募1回

事業成果

これまで委員10名で構成する「森林の未来を^{もり}考える懇談会」を46回開催し、取組に対する意見や評価等について検討していただくことで、県民の参画と透明性を確保することができた。

平成30年度森林環境基金事業の枠組(実績)

森林環境税 税収額 11.46億円 (11.38億円)

【個人事業者・給与所得者 9.34億円 法人 2.12億円】

県・市町村の徴収取扱費(税収の7%)
0.80億円 (0.80億円)

基金繰入 1.75億円 (1.00億円)

基金繰入額 10.66億円 (10.60億円)

基金繰入 8.90億円 (9.60億円)

森林環境基金(全国植樹祭勘定)

2.74億円 (2.79億円)

【繰入額 1.75億円 + 前年度末残額 0.99億円】

他財源の活用 1.38億円 基金充当 2.60億円

平成30年度事業費 3.98億円 (3.88億円)

森林環境基金 10.36億円 (10.96億円)

【繰入額 8.90億円 + 前年度末残高 1.46億円】

他財源の活用 0.03億円 基金充当 9.00億円

平成30年度事業費 9.03億円 (9.53億円)

平成30年度事業費 合計

13.02億円 (13.41億円)

県事業 9.96億円 (10.51億円)

【基金充当額 8.54億円、その他財源 1.42億円】

事業割合 事業費ベース 76.5% (78.5%)
基金充当額ベース 73.6% (74.3%)

もり
**森林の未来を考える
懇談会**
意見・事業評価

市町村事業 3.06億円 (2.90億円)

【基金充当額 3.06億円、その他財源 0.00億円】

事業割合 事業費ベース 23.5% (21.5%)
基金充当額ベース 26.4% (25.7%)

森林環境を保全するための事業 542,881千円 (606,205千円)	もり 森林づくりの意識を醸成するための事業 453,349千円 (451,213千円)	森林環境を保全するための事業 116,394千円 (101,338千円)	もり 森林づくりの意識を醸成するための事業 189,725千円 (188,807千円)
1 森林環境の適正な保全 366,736千円 (436,215千円) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林の若返りや広葉樹林化のための再造林の支援 ・里山林の環境整備 ・施業集約化を促進するための支援 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化	4 県民参画の推進 440,633千円 (428,678千円) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備 ・指導者の育成や森林ボランティアサポートセンターの運営等 ・森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援 ・県立学校における森林環境学習等 ・幼少期や青年期を対象とした森林環境学習等 ・流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組 ・森林環境情報の発信や森林づくり活動の拡大 ・全国植樹祭の開催	3 森林環境交付金事業 (2) 地域提案重点枠 116,394千円 (101,338千円) (事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他	3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 189,725千円 (188,807千円) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進
2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 176,145千円 (169,990千円) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR ・公共施設の木質化と木育活動の推進 ・木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組 ・地域に適した技術の継承による森林資源の活用	5 ふくしまの森林文化の継承 10,749千円 (11,014千円) ・県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組 ・森林文化を活用した地域再生		
	6 森林環境の調査 1,306千円 (4,374千円) ・森林の公益的機能の調査と発信		
	7 森林環境基金の運営 661千円 (901千円) ・森林の未来を考える懇談会の開催		

※()書きの金額及び割合は平成29年度実績

(20/20)